



RS ウイルスワクチン(妊婦さん用) 「アブリスボ」接種開始しました

※2024年12月25日開始

RS ウイルスに対するワクチン「アブリスボ」を妊婦さんに接種すると、母体内でウイルスに対する抗体が作られ、その抗体が胎盤を通じておなかの赤ちゃんに届きます（母子免疫ワクチンといいます）。母子免疫ワクチンにより、生まれてくる赤ちゃんのRS ウイルス感染を予防したり、感染しても重症化を防ぐ効果が期待されています。

接種をご希望の方は担当医またはスタッフにお伝えください。

RS ウイルスとは

RS ウイルスは世界中に広く分布するウイルスで、日本では生後1歳までに50%以上、2歳までにほぼ100%の子どもがRS ウイルスに初感染すると言われています。乳児の細気管支炎や肺炎の主な原因で、特に生後6ヶ月未満で感染すると重症化することがあります。

接種時期

妊娠 24 週～36 週

- 妊娠 28～36 週に接種すると有効性がより高いとされていますが、当院では 30～36 週の妊婦さんに限らせていただきます。
- 接種後 14 日以内に出生した場合の児への有効性は確立されていません。
- 本剤の児への効果の持続性についてはわかっていません。

接種方法

0.5ml を 1 回注射します。（母子手帳を持参してください）

金額

33,000 円（税込み）

ご予約について

妊婦健診時に接種可能です。ご希望の方は担当医またはスタッフにお声がけください。
ワクチン確保のため、接種希望日より1週間以上前にご予約ください。

参考資料

RS ウイルスを学ぶ
(ファイザー社 web サイト)



アブリスボ筋注用
(ファイザー社 web サイト)



日本小児科学会



日本産婦人科学会

